

5-7 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測 (その 27)

Crustal Movement Observation in the Fuji River and the Suruga Bay Area (Part 27)

東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
Earthquake Observation Center
Earthquake Research Institute, the University of Tokyo

前報⁽¹⁾に引き続き富士川観測所における 2001 年から 2002 年の地殻変動観測結果について報告する。第 1 図は水晶管伸縮計 (Ext), フロート型水管傾斜計 (F-Wtt), 気圧の日平均値, 読取型水管傾斜計 (R-Wtt) の読取值と, 日雨量を示す。例年と同様に記録の随所に季節変化・降雨の影響が見られるが特に大きな変動は見うけられない。

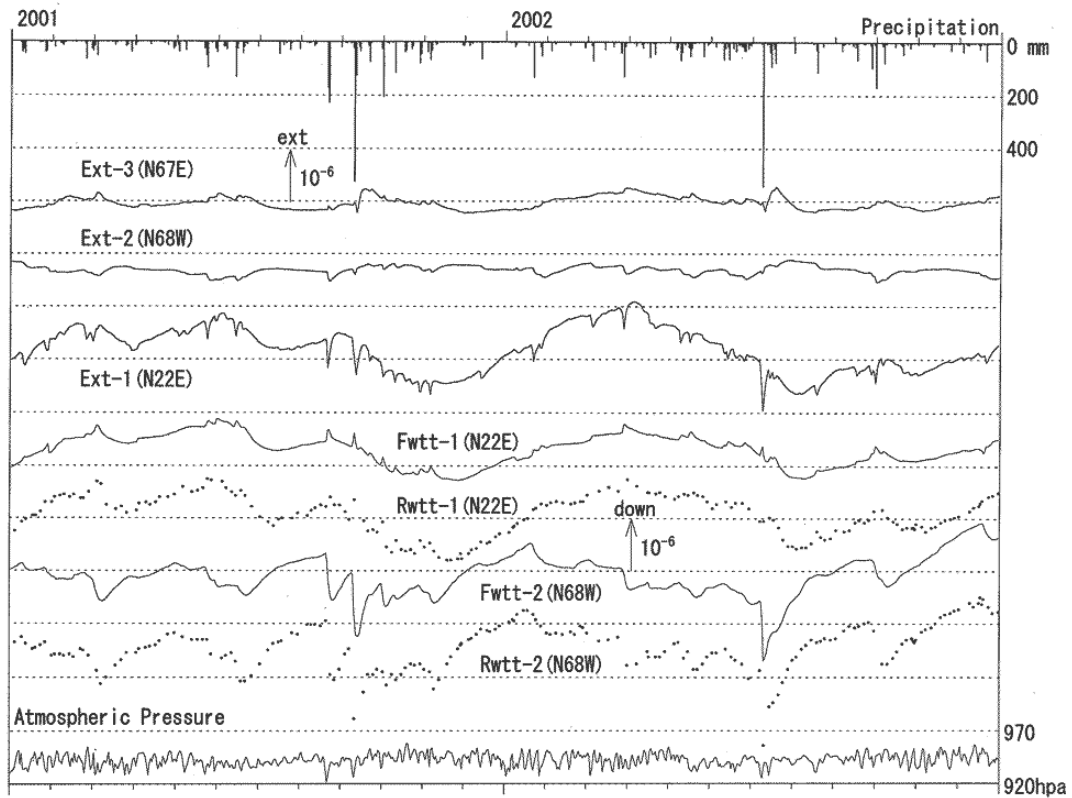
第 2 図に観測当初 1970 年から 2002 年までの水晶管伸縮計の日平均値と日雨量を, 第 3 図は読取型水管傾斜計の読取值と日雨量を, 第 4 図には読取型水管傾斜計の月平均値とその 12 ヶ月移動平均値と月別雨量を示す。第 5 図には読取型水管傾斜計の移動平均値に基づく傾動ベクトル図を示す。北東・南西への掘削方向への揺らぎを伴いながら南東方向への傾動が続いているが 1992 年頃より傾動変化が見受けられる, 東方向への傾動変化・南北方向の傾動の停滞が見受けられる, しかしその後東下がり方向の緩やかな傾動は続いているが 1997 年頃より南方向下がり傾動が加速しその後 1999 年頃より緩やかな傾動となっている。1992 年頃よりの南東方向への傾動変化が顕著になってきているように見うけられる。

第 6 図は水晶管伸縮計の月平均値からフィルター操作により長周期変動を取り出した図であるが傾斜方向に直交する緩やかな縮みの傾向であり目立った変化は見うけられない。

前報において報告した傾動変化の図において, 1999 年頃よりの変化に誤りがあったので訂正する。

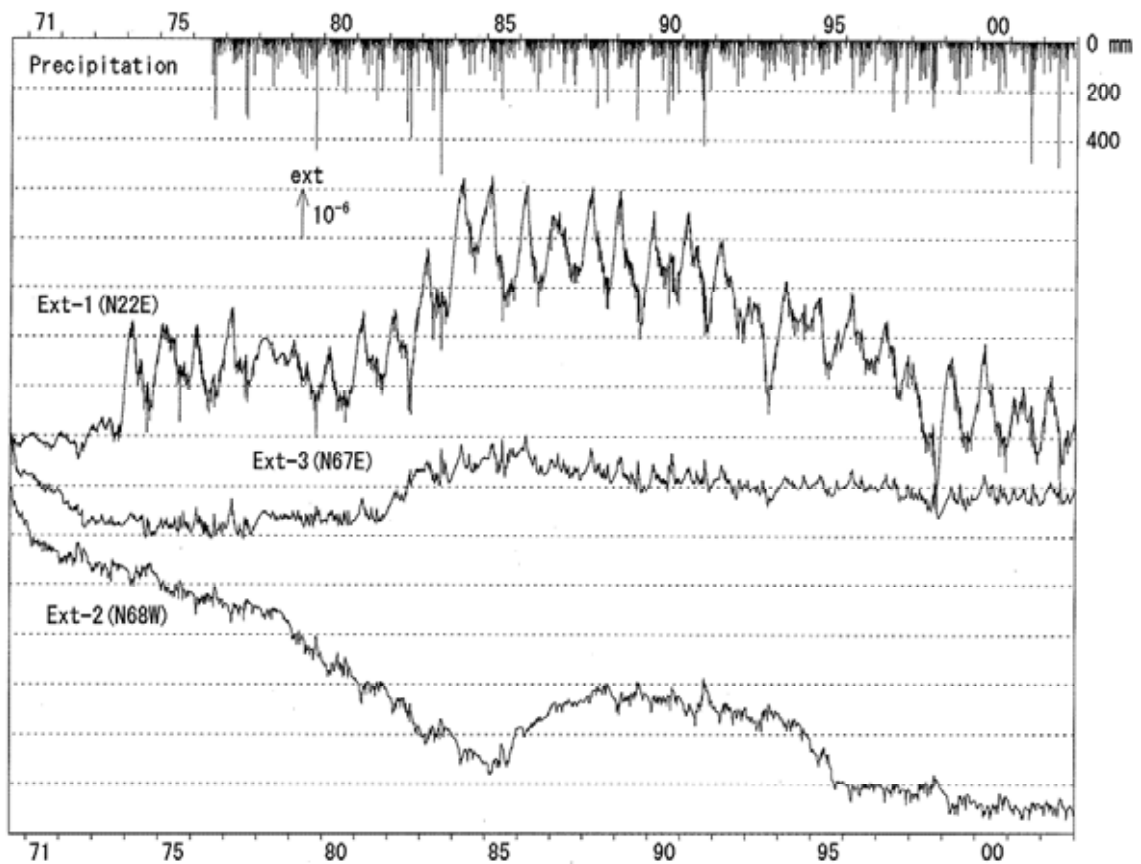
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所 地震地殻変動観測センター富士川地殻変動観測所: 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測 (その 26), 連絡会報 68 (2002 年), 337-340.



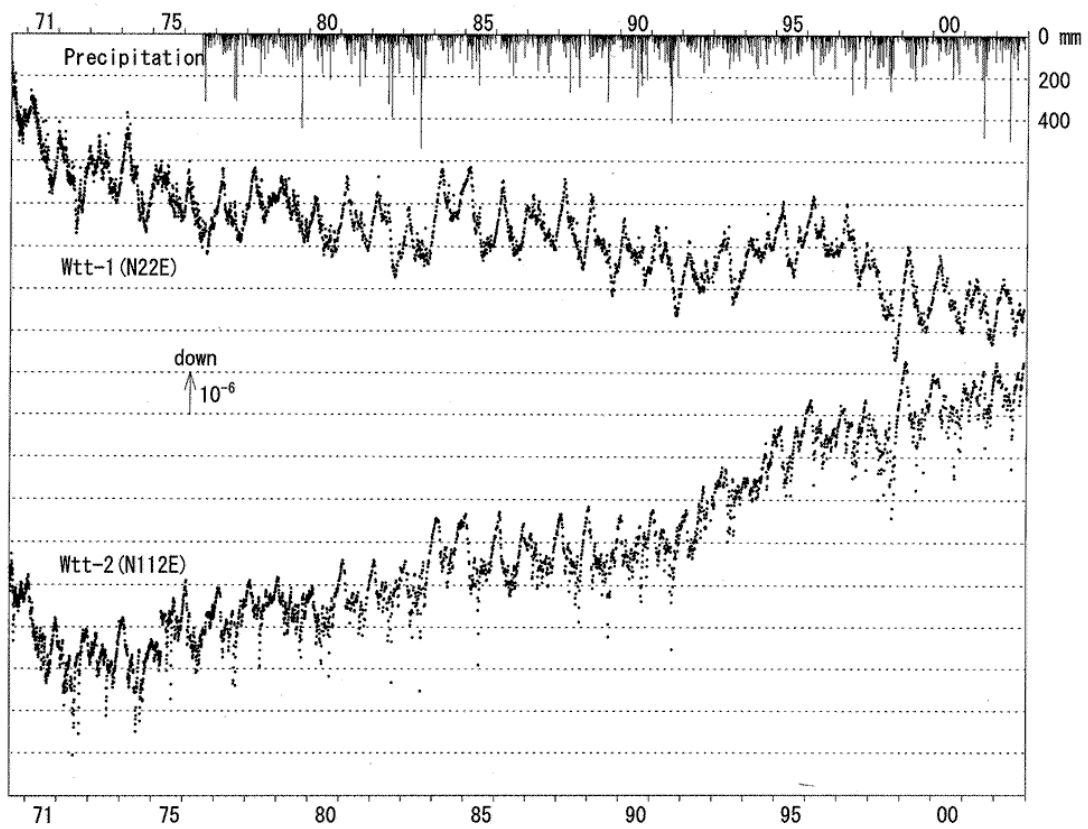
第 1 図 富士川観測所における水晶管伸縮計・水管傾斜計（実線＝フロート型・黒丸＝読取型）記録，気圧の日平均値記録および日降雨量（2001 年，2002 年）。

Fig.1 The earth's strain, tilt (solid=float type WTT, dots=reading type WTT), atmospheric pressure (daily mean) and daily precipitation at the Fujigawa observatory in 2001-2002.

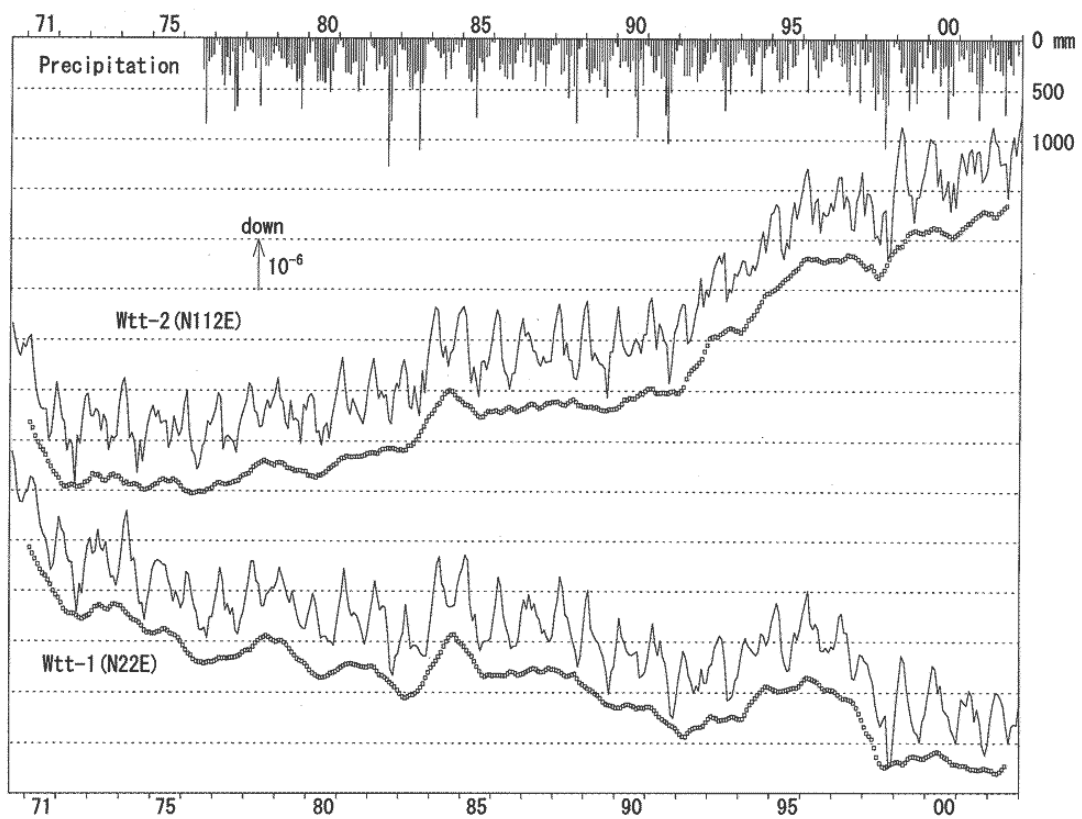


第 2 図 富士川観測所における水晶管伸縮計により観測された歪の日平均値の変化及び日雨量。

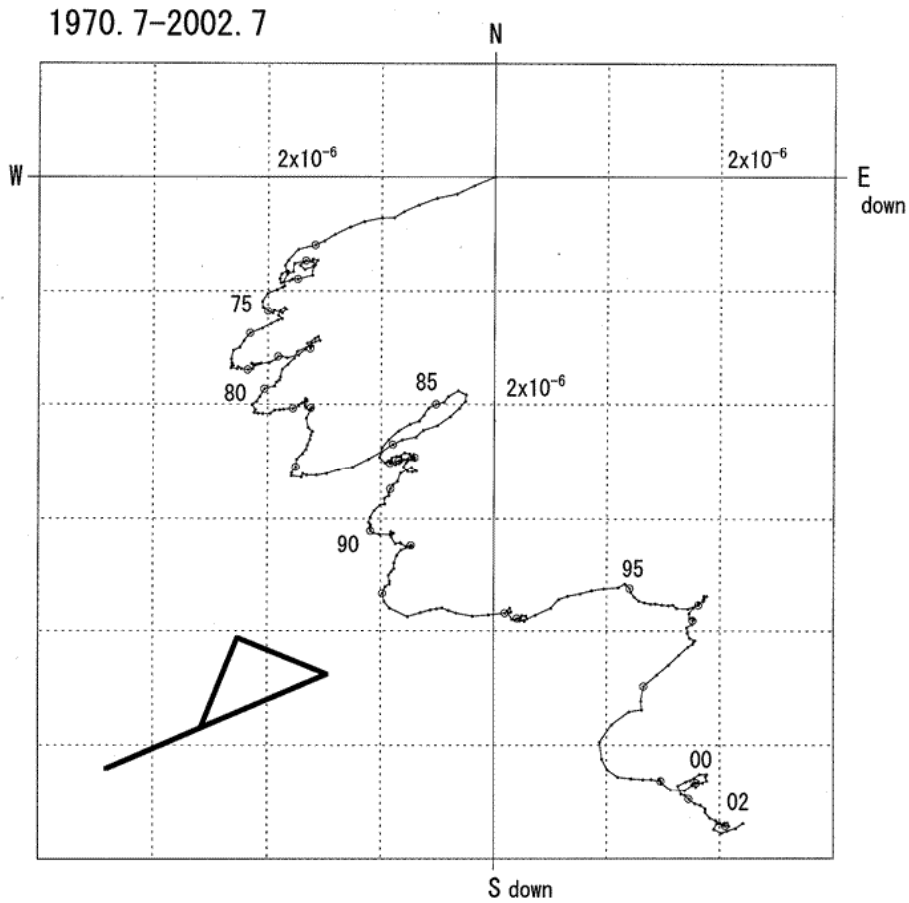
Fig.2 Daily mean strain data observed by extensometers and precipitation data.



第 3 図 富士川観測所における読取型水管傾斜計により観測された傾斜変化の読取值および日雨量.
Fig.3 Daily mean tilt data observed water-tube tiltmeters and daily precipitation data.

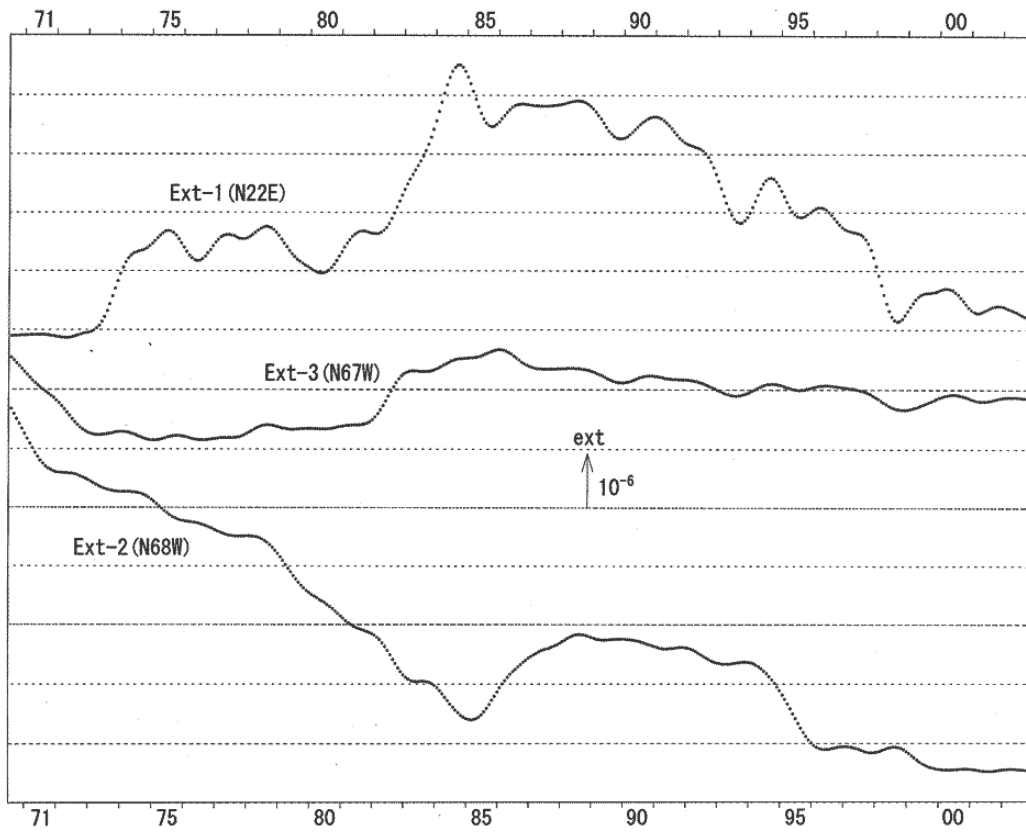


第 4 図 読取型水管傾斜計による累積傾斜変化 (□=12 ヶ月移動平均値・実線=月平均値) および月別雨量.
Fig.4 Cumulative tilt change by reading type WTT (□=12 month's running mean, solid line=monthly mean).



第 5 図 読取型水管傾斜計による永年傾動ベクトル (12 ヶ月移動平均値).

Fig.5 Vectorial presentation of filtersd secular change in the ground tilt.



第 6 図 伸縮計により観測された歪変化の月平均値の長周期変化.

Fig.6 Long period variation in monthly mean strain change by extensometers.